

おえる ことを、

【「終える、負える」

生老病死

責任を負う

それを、創めること

は じ め る

菊地 純 展

2014年1月7日(火)～2月16日(日)

開場時間 9:00～17:00 月曜休館 (月曜日が祝日の場合はその翌日)

入場料 一般 200 円 高校生以下無料

主催 白鷹町文化交流センター

白鷹町文化交流センター **あゆむ AYU:M**

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

同時開催 梅津五郎通常展1

TEL 0238-85-9071 <http://www.ayu-m.jp/>

「おえることを、はじめる」 菊地 純 展

2014 年 1 月 7 日～2 月 16 日

白鷹町文化交流センターでは、山形県在住または出身の若手アーティストの展覧会を開館以来毎年開催しており、第 5 回目となる今回は菊地純による個展として開催いたします。

菊地は山形県白鷹町浅立生まれで、現在は南陽市に在住して制作活動をしています。

菊地はイラストレーターを名乗るとおり、イラストやキャラクターデザインを依頼により制作するほか、県内を中心にグループ展を企画運営し、絵画作品などを制作・発表しています。東日本大震災以後は「BeHereNow」と銘打ったグループ展を継続的に企画しており、福島からの避難者も多い置賜地方での草の

根の活動として注目されます。

菊地作品のモチーフには、動物と並んで妖怪や空想上の生物などが多く登場しますが、必ずしも幻想世界に遊離したものではなく、どこか日常性を帯びたユニークさを持つことが菊地の特徴の 1 つといえるでしょう。また、作品タイトルでしばしば見られる言葉遊びもこうした要素を強めています。

本展のタイトル「おえることを、はじめる」は「終える／負える」双方の意味を持たせた言葉遊びですが、菊地の近年の活動を鑑みると、震災以後の世界に生きる作家の等身大の意識の現れであり、本展ではこうしたことを根底に作品を展開します。



アーティストトーク

1 月 11 日（土）14:00～15:00

料金 / 無料（ただし、当日の観覧券が必要）

公開制作

1 月 31（金）、2 月 1 日（土）10:00～17:00

料金 / 無料（ただし、当日の観覧券が必要）

会期中にモチーフのリクエストを頂き加筆します。

そのため、会期途中で画面が変化する作品があります。

ワークショップ

「色いろなオセロでゲームをしよう」

2 月 9 日（日）13:00～15:00

参加料 / 無料（当館まで要申込）

対象 / 小学生以上

クレヨンや絵具を使って、色とりどりのオセロをします。

ゲームの最後には素敵な作品ができあがります。

菊地 純 イラストレーター

www.junkikuchi.com

1982 白鷹町生まれ（現在、南陽市在住）

2008 Illustration 展（大沼米沢店）

2009 同上

2011 三沢英伍・菊地 純 二人展（米沢市）

2011～BeHereNow

東日本大震災が発生したおり、作家仲間と「今ここで」できる活動は何かを考え主宰。年二回を予定

2011 米沢市（6 月、12 月）

2012 上山市（6 月）、山形市（12 月）

2013 山形市（6 月、12 月）

2014 米沢市（6 月予定）

2012 こ と ほ ぐ 展（高畠町）



〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

■お車でお越しの場合／山形市より国道 348 号線で約 35 分

■電車でお越しの場合／赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車（赤湯駅から約 50 分）徒歩約 4 分

白鷹町文化交流センター **Ayu:M**

TEL 0238-85-9071

<http://www.ayu-m.jp/>